

# 福祉環境委員会

令和5年12月1日(金)  
時 分～時 分  
第2委員会室

【委員】三浦委員長、肥後副委員長、  
柳楽委員、串崎委員、上野委員、布施委員、川神委員

## 【執行部】

〔健康福祉部〕猪木迫健康福祉部長、河内地域福祉課長

〔市民生活部〕井上市民生活部長、小松環境課長

〔上下水道部〕佐々木上下水道部長、右田水道管理課長

【事務局】久保田書記

## 議 題

- 1 所管事務調査事項について
- 2 12月12日(火)の委員会審査日程等について
- 3 その他
  - ・【要望書】令和6年度税制改正に関する提言について(委員会に配布)
- 4 ざかいポストに寄せられた意見等への対応協議について(委員間で協議)
- 5 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて(委員間で協議)
- 6 取組課題について(委員間で協議)

## 12月12日(火)10時開催の福祉環境委員会における予定議題

- 1 陳情審査
  - (1) 陳情第118号 電気ガス事業者や民法の規定と矛盾するような浜田市水道のルールはわかったものから改善してほしいという陳情について
- 2 議案第60号 下水道事業の地方公営企業法の全部適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 3 議案第65号 浜田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について
- 4 執行部報告事項
- 5 所管事務調査
- 6 その他

陳情番号	118
付託先委員会	福祉環境委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 森谷公昭

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●電気ガス事業者や民法の規定と矛盾するような浜田市水道のルールは、わかったものから改善してほしい。

水道の敷地内の配管図が土地家屋の所有権が変わっていても（それがわかっている）前所有者から届け出がないと、新所有者は見せてもらえない。

こんな馬鹿なことがあっていいはずがない。

電気ガスはこのような届け出無しで対応してくれる。

不動産の所有権が変われば付属するものは、それについて変わることにしている。

浜田市水道の届け出を出すという規定は、不要なものである。

以前は、契約書を添えて届け出しろ、ということだった。

早急に改善してほしい。

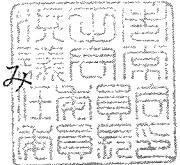


令和5年11月27日

総務文教委員長 芦谷英夫様  
福祉環境委員長 三浦大紀様  
議会運営委員長 柳楽真智子様

議会広報広聴委員会

委員長 村武まゆみ



ぎかいポストに寄せられた意見等への対応協議について

ぎかいポストに寄せられた意見について、別添意見等一覧表を提供いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、貴委員会にて議会としての対応をご協議いただき、協議経過及び結果を令和5年12月13日(水)15時までにご報告くださいますようお願いいたします。

報告いただいた内容は、はまだ議会だより Vol.72 (令和6年2月1日発行予定) に掲載予定です。

# ぎかいポストに寄せられた意見等対応報告

福祉環境委員会

意見	対応経過及び結果
<p>・減税。古い規制は撤廃してください。</p> <p>・市民税（地方税）も下げてください。</p> <p>現状、消費税10%で、8%の軽減税率もありますが、物価上昇により生活が苦しい状況です。減税が必要です。古い規制は廃止して減税してください。また、大企業と高額所得者は税金が少ない状態です。これに対しては、税率アップが必要と考えます。法人税アップが必要です。税金の基本原則は、応能負担と思います。税金をたくさん払えるお金持ちはたくさん税金を支払う必要があります。消費税に関しては真逆のことが起きています。所得の低い人が重税に苦しみ、金持ちはちっとも負担しない。税制改正、行政改革が必要です。軽減税率（外国のように）もぜひ採用してもらいたいです。国は消費税、国税を上げないと思いますが、議員の皆様、減税のことどうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p>	

番号	1	テーマ	合併処理施設維持管理に関する協定書の修繕費等見直しについての要望
氏名	ふくろじり たかし 袋尻 孝		
内容	<p>1. 平成 10 年 6 月に締結した協定書は実情を反映していない。</p> <p>2. 協定書の土地所有者が負担する大規模な修繕費（積立金）の負担割合が按分負担は疑義があります。（按分→応分）</p> <p>3. 丙の土地所有者であっても都合により居住する事が出来ない場合はこの責を免除するのが妥当です。（協定書に記載するべきです）</p> <p>4. 甲が提示される長期計画策定書の丙の負担額が受益分の 1.5 倍です。</p> <p>5. 大規模な修繕費は設置者、所有者である甲、浜田市下水道事業者である乙が応分の負担をして丙の応分負担は下水道利用料金、他団地の利用料金を参考に検討すべきです</p>		
対応	福祉環境委員会で対応する。		

番号	2	テーマ	石見神楽をもっと発信してみたらどうか
氏名	ささき かずま 佐々木 一真		
内容	<p>コロナが落ち着きはじめて、県外の神楽公演依頼も増えてきましたが、まだまだ石見神楽を知っている人はとても少ないと思いますのでもっと石見神楽を発信して興味を持つ人を増やしてみたらどうでしょうか？興味を持つ人が増えれば浜田市への観光客が増えると思います。以前「日本石見神楽大会」で神楽に関する施設を考えていると、久保田市長が言われていましたが話は進んでいるのでしょうか？もし実現可能なら浜田市の良い観光スポットになると思います。また、ふるさと寄附の貯金が 25 億あり、その中の 7 億が石見神楽などの伝統芸能に使ってほしいという話を聞きました。そのお金を石見神楽の発展につながることにぜひ使っていただきたいです。</p>		
対応	浜田市議会石見神楽振興議員連盟で対応する。		

番号	9	テーマ	浜田市郷土資料館について
氏名	くしもと やまと 櫛本 和		
内容	<p>私は、令和4年12月より半年間 HAMADA 教育魅力化コンソーシアムが主催する、「ふるさと歴史探求プロジェクト・高校生学芸員」に参加し、浜田城・浜田城下町・外ノ浦について探究活動を行いました。私の研究テーマは「浜田城落城への道のり」です。史実にはない浜田城籠城戦を想定し、浜田城資料館や浜田市郷土資料館に展示されている文書や地図、当時の実際の手紙などの資料の調査、そしてフィールドワークを通じて、浜田の地形や建造物の意図、寺院などの配置などについて探究し、城下町・はまだについて考察しました。この探求の結果として、城下町・浜田が軍事都市として大変優れていることがわかりました。そのことで私は、自分の住んでいる浜田について誇りと愛着が一段と強くなりました。同時に、城下町としての浜田の歴史の面白さや意味を地域の方々にはもちろん、浜田を訪れる人々に知ってもらいたいと思うようになりました。探究活動の際に訪れた「浜田市郷土資料館」では年代ごとに展示する形式が採用されていて、非常に伝わりやすく理解しやすかったです。しかし、館内は狭く建てられてから60年が経過したという事もあり、老朽化が進んでいるようでした。まだ、展示できるものが存在するにもかかわらずできていないようでした。こういったことで私は「浜田市郷土資料館」の建替え案の推進を提案します。</p>		
対応	総務文教委員会で対応する。		

番号	10	テーマ	浜田港を活用した新エネルギー基地構想について
氏名	ありの ゆうと 有野 夢叶		
内容	<p>2023年は政府のほうで「水素基本戦略」の改定といった新エネルギーに対して様々な動きがあった。また政府は水素産業に15兆円投資するなどの様々な支援も表明した。その流れを浜田市・浜田港にもってきて、浜田港を中心とした新エネルギー産業創出への提言を行う。</p>		
対応	福祉環境委員会及び産業建設委員会で対応する。		